

令和2年度 あきたスマートカレッジ J講座報告

J 官・民・学連携講座 あきたチャレンジゼミ 無料講座
 (定員【絵本編】J1・J2 各70名 【防災編】J3～J6 各70名 会場：秋田県生涯学習センター
 【親子編】J7 70名 【博物館編】100名)

	日	時	テーマ	講師	
絵本編	J1	6/20 (土)	13:30～15:00	大人が楽しむ絵本の時間「絵本セラピー®」 ～絵本は子どものもの？大人も絵本を読んでみよう～	絵本セラピスト® 木村 加奈子 氏
	J2	6/27 (土)	13:30～15:00	大人が楽しむ絵本の時間「おとなの絵本会」 ～絵本を持ち寄って、読み合いや語り合いをしよう～	
防災編	J3	7/25 (土)	13:30～15:00	「いのちを自分で守る～自助～」について学ぼう！ ～身近にできる防災対策～	日本赤十字秋田短期大学 講師 及川 真一 氏
	J4	8/22 (土)	13:30～15:00	「東日本大震災・熊本地震から学ぶ～共助・共同～」について学ぼう！ ～避難所の実態と課題～	
	J5	9/19 (土)	13:30～15:00	「新たな防災教育～アウトドアと防災～」について学ぼう！ ～防災を学んで楽しい～	
	J6	10/24 (土)	10:00～11:30	【K4と合同開催】 みんなで避難所を設置しよう！ ～短時間でプライベート空間を確保する～	
親子編	J7	8/1 (土)	13:30～16:30	親子でチャレンジ!! はじめての動画づくり	秋田県生涯学習センター職員
	J8	8/3/14 (日)	13:30～16:00	秋田県立博物館調査研究報告会	秋田県立博物館職員

県機関や地域の大学・企業がもつ専門分野や教育資源を活用し、地域課題の解決や未来への視点など、秋田の「いま・これから」を学ぶ講座です。親子編は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。ここでは絵本編を報告します。

J1 10月17日(土)「大人が楽しむ絵本の時間『絵本セラピー®』

～絵本は子どものもの？大人も絵本を読んでみよう～

4人グループとなり、木村加奈子氏の読み聞かせとお話を聞き、その後、感想や自分の経験等をグループのメンバーに紹介し合いました。「喜・怒・哀・楽」の気持ちに添った絵本を紹介してもらおうと、受講者は嬉しかったエピソードやイライラしたときの解消方法等の話題を次々と書き出します。会話が弾んでいました。「絵本de感じて考える喜怒哀楽」のテーマどおり、絵本だからこそ伝わる気持ちがあり、豊かな心のふれあう時間となりました。



J2 11月7日(土)「大人が楽しむ絵本の時間『おとなの絵本会』

～絵本を持ち寄って、読み合いや語り合いをしよう～

受講者が紹介したい絵本1冊を持ち寄って、グループで読み合いや語り合いをしました。どうしてその本を選んだのか、その本からどんなメッセージをもらったのかを話します。そして、読み聞かせの後に、絵本についてや絵本にまつわるエピソード話のいいところ探しをします。語り合いが始まると、随所で拍手が湧き起こり、会話がつきない様子がみられました。語り合いが一区切りすると、木村氏から、絵本にはおしつけがましさがなく、人の心を動かし、日常生活が平和におさまること等のフィードバックがありました。絵本は子どもだけの本ではなく、子どもからでも読める本であり、心の栄養となると結び、受講者は何度も頷いていました。



J 官・民・学連携講座 あきたチャレンジゼミ

(定員【絵本編】J1・J2 各70名 【防災編】J3～J6 各70名
【親子編】J7 70名 【博物館編】100名)

県機関や地域の大学・企業がもつ専門分野や教育資源を活用し、地域課題の解決や未来への視点など、秋田の「いま・これから」を学ぶ機会を提供します。

無料講座

会場：秋田県生涯学習センター

	日 時	テ マ	講 師
防災編	J3 7/25 (土)	13:30～15:00	日本赤十字秋田短期大学 講師 及川真一氏
	J4 8/22 (土)	13:30～15:00	
	J5 9/19 (土)	13:30～15:00	
	J6 10/24 (土)	10:00～11:30	

楽しみながら『防災』を考え、日常生活や災害時に役立つスキルを身に付けることができる4回シリーズの講座です。最終回には、これまで身に付けたスキルを活用し、障害のある方と一緒に防災について学びます。講師は日本赤十字秋田短期大学の及川真一氏です。

J 3 7月25日(土)「いのちを自分で守る～自助～」～身近にできる防災対策～

防災を学ぶ究極の目的は「自分で自分の命を守る」ということです。まずは、自分の手洗いをチェックしてみました。ブラックライトに反応する塗料をコロナウイルスに見立て、普段の手洗いでどのくらい落ちているかを見てみました。自分が思ったよりも落ちていないことに参加者は驚いていました。正しい手洗いの仕方を学び、塗料が見えなくなるまで頑張ってお手洗いをしました。次に、及川氏が使っているキャンプ道具を見せてもらいました。災害時にも役立つソーラーパネルや充電器など、初めて見る様々な道具に歓声が上がっていました。



J 4 8月22日(土)「東日本大震災・熊本地震から学ぶ～共助・共同～」～避難所の実態と課題～

困った人を助けることができるのは、自分に余裕がある時であるということ、海外の実験動画を見ながら学びました。だからこそ各自が「自助」の力を上げていくことが大切です。その後、A4のクリアファイルを使ってフェイスシールドを作成し、身近な物を工夫することの大切さを学びました。また、グループに分かれ、3月11日の東日本大震災について語り合い、備蓄の大切さ、電気のありがたさなど、あの時感じたいろいろなことを思い出しました。語り合うことが防災の活動になったとても有意義な研修の一コマでした。



J 5 9月19日(土)「新たな防災教育～アウトドアと防災～」～防災を学ぶって楽しい～

今回チャレンジしたのは「ふわとろオムライス」づくりです。炊飯に使用したのがアルミ飯ごうの「メスティン」です。熱伝導率が高く、弱い熱源でも調理することができます。材料を入れて加熱し、炊き上がった卵を入れて新聞紙にくるんで10分間蒸します。たったこれだけで完成です。災害時こそ元気が出るものを食べ、明日も頑張ろうと思うことが大切です。キャンプの経験が災害時に役立つことを実感できた活動でした。「どこで買えるの？」など、キャンプ道具に興味をもった人もたくさんいました。



J 6 10月24日(土)「みんなで避難所を設置しよう」～短時間でプライベート空間を確保する～

最終回は、同じメニューで学んできた障害のある方と一緒に避難所を設置しました。テント設営は初めてという人も多かったのですが、5分ほどで全員完成させることができました。テントを使うことには、仕切りがしっかりできること、視線が遮られるのでリラックスできることなどの効果があります。あまりにも簡単に設置できたので、家庭にも準備したいという声がたくさん聞かれました。最後に、障害のある方もない方も、一緒に「災害に備えて自分にできること」を話し合いながら、お互いの理解を深めていました。

